

日本健康心理学会第 35 回大会 <仙台へのいざない No.3(最終号)>

日本健康心理学会第 35 回大会へようこそ!

大会開催まであと一ヶ月ほどとなり、仙台・宮城についてのあれこれのご案内も、これが最終版となりました。<仙台へのいざない No.3>をお届けします。最後のテーマは、皆様お待ちかね(?)の「グルメ」です。

1 仙台駅に着いたらすぐに名物を食べたい方に

仙台の味としてよく知られているのは、牛タン・笹かまぼこ・ずんだ餅などでしょうか([仙台 3 大みやげの楽しみ方 \(miyakonomorisendai.com\)](http://miyakonomorisendai.com))。JR 仙台駅では、駅ナカで名物を召し上がることができます。

仙台駅 3 階の新幹線中央改札口を出ると、すぐ右手に各種ずんだスイーツなどの「ずんだ小径」があり、さらにその奥に続く「牛たん通り」「すし通り」にはそれぞれ複数の専門店が並んでいます。

空腹を抱えてすぐに仙台名物を食べたい!という方にも、きっとご満足いただけると思います。

また、中央改札口から前方にあるエスパル仙台(本館・東館)には、たくさんの飲食店があります。宮城の新鮮な旬の魚介や野菜を使った郷土料理や鮎、オイスターバーなど、お好みのお店を探してみてください。

なお、JR仙台駅 2 階にある仙台市観光情報センターでは、各種観光パンフレット類や地図を入手することができます。

2 この季節ならではの味を楽しみたい方に

11 月下旬の仙台はだいぶ寒くなりますから、温かな鍋料理はいかがでしょう。数年前から冬の味覚として人気を集めているのは「せり鍋」です。旬のせりは香りが高く、葉や茎だけでなく、根も(が!)美味しい。醤油ベースのスープや脂ののった鴨肉とともにぜひ味わってみてください。

【写真提供:(公財)仙台観光国際協会】



また残念ながら芋煮会のシーズンは終わりましたが、お店によっては「芋煮」を出しているところもあります。油を使わない製法が胃にやさしいといわれる「白石温麺(うーめん)」も、この季節はあたたかい料理として美味しくいただけます。

そしてこの時期はなんといっても「牡蠣」のシーズン!! 宮城県で養殖される牡蠣は、広島県に次いで全国第 2 位の生産量を誇ります。生で、焼き牡蠣で、また仙台味噌を使った牡蠣鍋(牡蠣の土手鍋)として、ぜひ旬の味覚をお楽しみください。松島や塩釜、仙台港などには、<焼き牡蠣食べ放題>などの「牡蠣小屋」があります。



【写真提供:宮城県観光プロモーション推進室】

3 アルコールはほどほどに?

最後に、お待ちかねのお酒の情報です。日本健康心理学会の会員の皆様は、アルコール摂取について科学的な見解をお持ちと存じますので、どうぞその範囲で、仙台の繁華街そして東北の地酒を十分にご堪能いただければと思います。

東北随一の繁華街として知られているのは、仙台市内の「国分町」(こくぶんちょう)です。

東日本大震災そしてコロナ禍と、引き続きダメージも少なからずあり、昔ほどの賑わいはなくなっているような気がします。「一般社団法人・国分町街づくりプロジェクト」による「国分町ガイドマップ」HP が作成されています。興味のある方は検索してみてください。掲載されている飲食店については、感染症対策の実施程度や、宮城県コロナ対策認証制度の取得の有無なども確認できます。

少しディープなところでは、「壹式参(いろは)横丁」や「文化横丁」があります。戦後間もなくの創業というお店があって、レトロな雰囲気が漂いますが、新しいお店も入っています。夜だけでなく、ランチ営業の店もありますので、ぜひどうぞ。



【写真提供: (公財)仙台観光国際協会】

さて、日本酒のお好きな方には、宮城や東北各地の地酒を存分にお楽しみいただけると思います。

宮城県には 24 の蔵元があり、たくさんのお酒があります。銘柄等については、宮城県酒造組合公式サイト([宮城県酒造組合 公式サイト「宮城の酒」|宮城の日本酒・蔵元ガイド \(miyagisake.jp\)](http://www.miyagisake.jp)) をご覧ください。

仙台に隣接する大崎市の蔵元「一蔵」の近くには「松山酒ミュージアム」もあります。

【写真提供: 宮城県観光プロモーション推進室】



「仙台へのいざない No.2」ではニッカウキスキー仙台工場宮城峡蒸留所をご紹介しましたが、宮城県内にはワイナリーもたくさんあります。温泉で知られる秋保(仙台市太白区)のほか、亘理郡山元町(いちごワイン)、黒川郡大和町、南三陸町と、いずれも仙台市内からはやや遠いところですが、東日本大震災後にオープンした若く元気なワイナリーです。

★終わりに

3年ぶりに対面で開催する第35回大会、ぜひとも多くのご参加を得て、活発な研究交流ができればと存じます。

準備委員一同、皆様のお越しを楽しみにお待ちしております!!!

また3回にわたるささやかな「仙台へのいざない」が、皆様の仙台へのご旅行のお役に立てば幸いです。

お読みいただき、どうもありがとうございました。

大会準備委員長 堀毛裕子

※第35回大会準備委員会では、twitter を開設しました。新しいお知らせなどを随時つぶやいていきます。

以下のQRコードをご利用ください。

